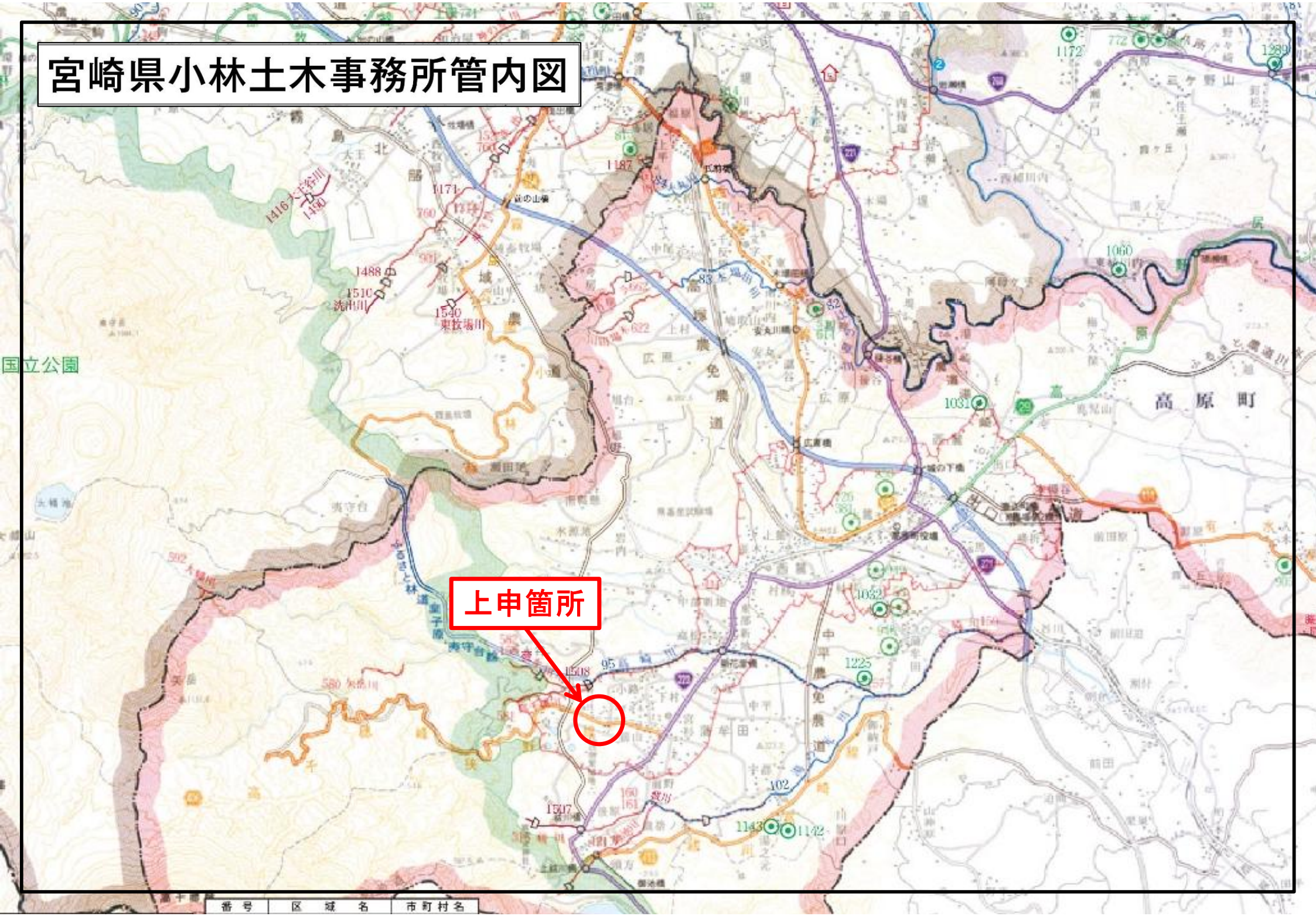
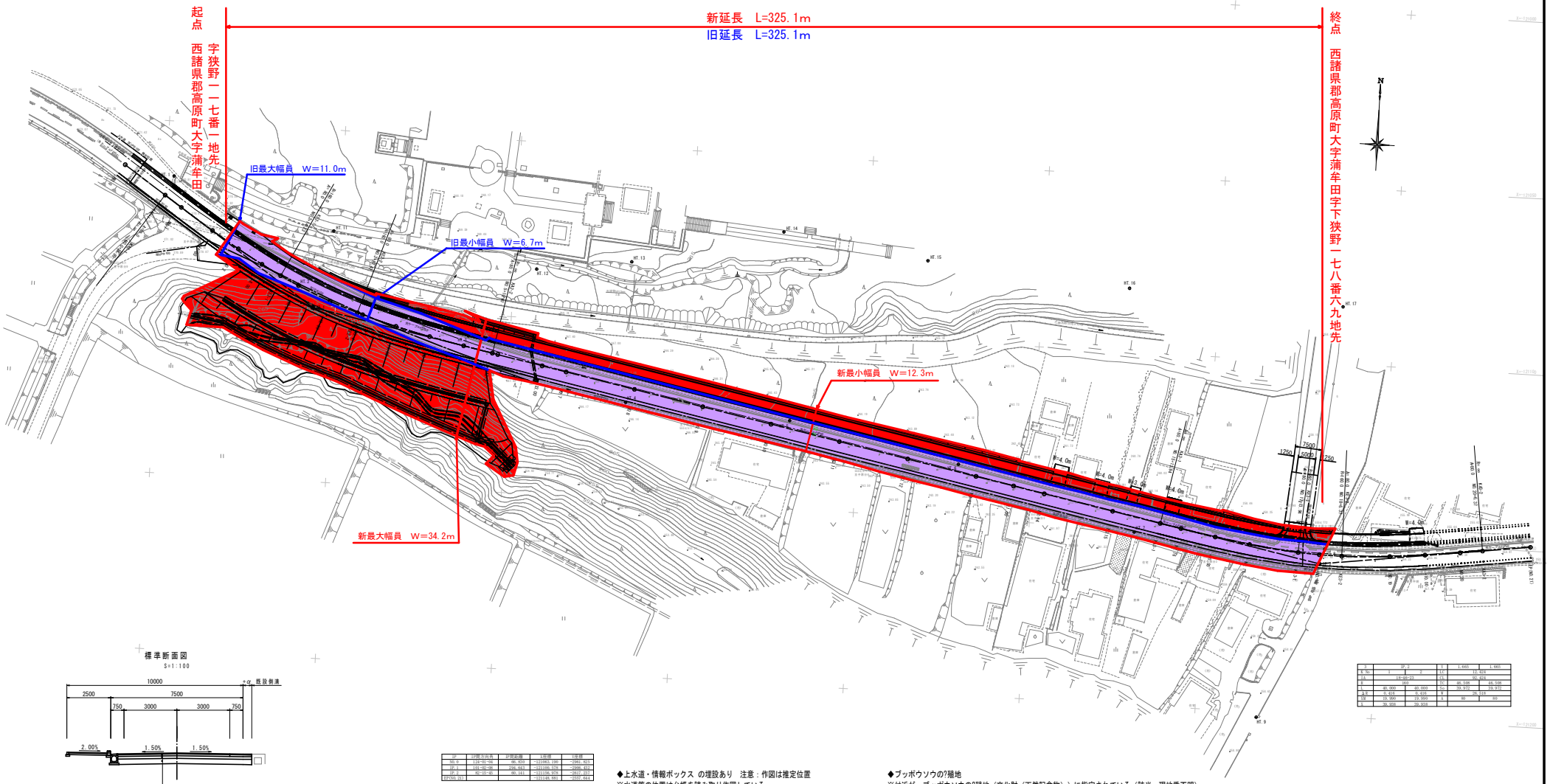
宮崎県小林土木事務所管内図



平 面 図　縮尺 S=1:500



標準断面図

S=1:100

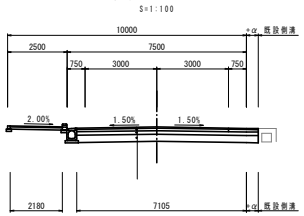


表　層	（密粒度As）	t= 5cm
上層路盤	（粒調砕石）	t=10cm
下層路盤	（再生クラッシャラン）	t=15cm
路　床	（Fe石灰処理土）	t=30cm

IP	IP間方向角	IP間距離	X座標	Y座標
NO. 0	118°41'45"	66.403	-121853.136	-2941.623
IP. 1	101°05'39"	236.543	-121108.329	-2906.414
IP. 2	92°15'40"	60.181	-121156.978	-2617.217
EP(No.21)			-121148.983	-2557.664

区	IP. 1		1	1.685		1.685
R.No.	1	2	1C		24.178	
曲	22°59'55		1S		184.179	
R	900		1C	32.481		32.481
L	40.000	40.000	2C	39.972		39.972
2E	5.618	5.618	2S		32.511	
1B	10.999	10.999	2	80		80
1	39.938	39.938				

区	IP. 2		1	1.685	1.685
R.No.	1	2	1C	12.924	
曲	18°56'32		1S	92.924	
R	900		1C	65.505	65.505
L	40.000	40.000	2C	39.972	39.972
2E	5.618	5.618	2S	26.518	
1B	10.999	10.999	2	80	80
1	39.938	39.938			

◆上水道・情報ボックス の埋設あり　注意：作図は推定位置
※水道管の位置は台帳を読み取り作図している
　施工前に詳細位置の確認・管理者（高原町）との現地立ち合いが必要となる
　仕切弁・消火栓等は高さの調整が必要となる
※情報ボックスの位置は台帳を読み取り作図している
　施工前に詳細位置の確認・管理者（国土交通省）との現地立ち合いが必要となる
　ハンドホールは高さの調整が必要となる

◆ブッポウソウの?殖地
※付近が、ブッポウソウの?殖地（文化財（天然記念物））に指定されている（該当・現地番不明）
　影響範囲内や、伐採対象の樹木を対象に、影響の有無を確認することが望ましい

◆隣接地への乗り入れ・幅杭の位置
※乗り入れ位置は現況に合わせて計画している
　施工前に地権者へ位置の確認を行い、必要に応じて変更をおこなうこと
※隣接地の外構は補償対象とし、土羽により計画している
　幅杭の位置は用地業務内で確認を行うこと

工事名	令和3年度　交通防安第42-14-8号 県道高千穂峰狭野線　狭野工区　道路詳細設計業務		
図面名	平 面 図		
作成年月日	令和 3年 11月		
縮尺	図　示	図面番号	1 / 10
会社名	株式会社　九州土木設計コンサルタント		
事業者名	宮崎県小林土木事務所		